

OGINO NEWS

水性塗料特集号

荻野ニュース平成25年夏号
編集：荻野化成株式会社

特集！
水性塗料



えっ！そんなのあるんだ！ここまで来ている水性塗料！

気が付くと、梅雨を感じないまま日差しが強まり、蝉の声が夏の訪れを告げています。学校も夏休みに入りました。各自治体で毎年、夏休みの学校工事の準備が始まると、「F☆☆☆☆」や「低VOC」「環境対応型」などといった言葉が聞かれる様になります。今年に入ってからも、原油価格の高騰に伴いシンナー類や溶剤塗料の値上げが実施されました。思い起こせば塗料用シンナーなどはここ20年ほどで倍以上の価格になっており、今後いつまた値上げとなるか知れません。弱溶剤塗料という日本独特のカテゴリーが鉄部用塗料に関して市場を席巻しているのは、ある意味で水性塗料の様々な諸性能の不足を示すものなのかもしれませんが、現在の水性塗料の性能・機能は実のところ、どこまで来ているのでしょうか。夏号ではその「水性塗料」の老舗、インターナショナルペイント(株)の商品にスポットをあててみたいと思います。

鉄部はもちろん、トタン板・ステンレス・アルミ・ガルバリウムなど各種鋼板・旧塗膜に密着！

『水性メタルコート』

インターナショナルペイント(株)



インターナショナルペイント(株)は、昭和27年(1952年)創業以来、60年以上にもわたって水系塗料に特化し、その可能性を追求し続けてきた我が国唯一の水系塗料専門メーカーです。「長年の水系塗料専門メーカーとして蓄積したノウハウを生かし、あらゆる分野、部材で使用される溶剤系塗料を水系塗料化することをテーマとして取り組み…」と同社のホームページに書かれている通り、一般建築塗料、工業ライン用塗料の分野において、特色ある水系塗料を数多くラインナップしています。その中でも最初にご紹介しなくてはならないのは、何と云っても、この『水性メタルコート』シリーズです。その名の通り金属用塗料なのですが、その特徴は以下の通りです。

①**プライマーレス仕様で、各種金属面に対し他に類のない密着性** ⇒ボンデ鋼板(電気亜鉛メッキ鋼板)、トタン板(溶融亜鉛メッキ鋼板)、ガルバリウム鋼板、ZAM鋼板、アルミ板、ステンレス鋼板などに対して殆どの場合、直接塗装が可能(鏡面仕上げの場合は要テスト施工)です。今まで溶剤形塗料でしか提案出来なかった室内での非鉄金属面の塗替えを水性塗料仕様に変える事が出来ます。

②**優れた光沢保持(耐候性)と高い調色性**⇒豊富であざやかな原色を取り揃えることにより、淡彩から濃彩色まで幅広い調色が可能で、例えば日塗工などではごく一部の高彩度色を除き、調色可能です。艶も有り・5分・無しを選択可。また、更に高いレベルの耐候性が必要な場合のために『水性メタルコートSi』をラインナップしています。

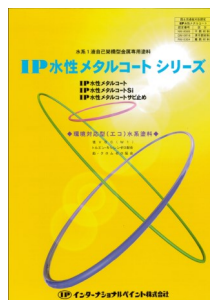
③**塗替えに最適**⇒もちろん低VOCタイプで、国交省・文部科学省の室内濃度測定対象物質を配合せず、F☆☆☆☆で鉛・クロムフリーと、室内塗装の諸条件を満たしています。(F☆☆☆☆・不燃材料規格は『水性メタルコート』のみ取得。『水性メタルコートSi』は性能的には充足ながら未取得。)更に下塗りの『水性メタルコートサビ止め』(JIS K 5674 2種相当)の使用により、外部鉄面の水性塗り替え仕様が組めます。

・・・いかがでしょうか。夏休みの学校工事などで、指定材料になっているケースもあると聞きましたが、なるほどと頷ける内容です。しかしながら、ご存じの通り夏場の水性塗料塗りの場合、とかく乾燥の早さは問題となります。この点に関しては今まで、希釈率の調整、役割分担によるペアでの施工(ネタ配りと施工)、気温があまり高くない午前中の施工などで対応して頂いているとの事です。とは言え、この点を補っても余りある特徴を有する塗料です。一度お試しください。価値は十分にあるのではないのでしょうか。

ローラー適性を持つ水性シルバーは色相調整も可能なスグレもの！

『水性メタルコートシルバー』

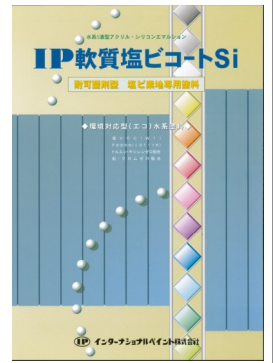
さて、この『水性メタルコート』には『水性メタルコートシルバー』がラインナップされています。このシルバーなのですが、刷毛・ローラー・スプレー塗装が可能であるばかりでなく、現場で調色剤の『IPカラー』を使用して、写真の様に任意のメタリックカラーを作ることが出来ます。よく手摺塗装などで「シルバーの粉が手に付く。」という話を聞きますが、このシルバーはノンリーフイングタイプ(シルバーの鱗片が沈み込むタイプ)ですので手に付きません。使用する器具は、刷毛なら『塗来』、ローラーなら『WAKABA 13mm』が良いそうです。



可塑剤にやられない！塗膜がべたつかない理由！あんなところにも塗れそう…

『軟質塩ビコートSi』

室内のビニルクロス、マンションの玄関ドア、戸建住宅の破風板などを塗装したら塗膜がべたべたするようになってしまった…という経験をお持ちでしょうか。ひと昔前までは変性エポキシ錆止を下塗りに使ったり、溶剤ウレタンで塗ってみたりと、べたつかない方法をそれぞれが考えて塗っていました。近年、そういう軟質塩ビの素地に塗装をするためのプライマーが活躍しています。塗膜のべたつきの原因となる塩ビから塗膜への可塑剤移行を、このプライマーで“蓋をする”事によって防くのがミソなのですが、ここでご紹介する『軟質塩ビコートSi』は全く違う原理です。『軟質塩ビコートSi』は可塑剤を通過させるが“やられない”のです。可塑剤移行によって塗膜が軟化してしまうのは塗料中の樹脂が可塑剤にやられてしまうためなのですが、この塗料の樹脂は可塑剤ごときでは軟化しない強靱さを備えているのです。この塗料を上塗りした状態でも可塑剤移行は起きているのですが、塗膜が変化しないために可塑剤をシャットアウトしている様に見えるのです。塗膜の軟化…という最近「皮脂軟化」という現象もクローズアップされていました。これを防ぐための塗料も発売されましたのでご記憶の方も多いと思います。勘のいい読者の方のご想像通り、この『軟質塩ビコートSi』は皮脂軟化に対しても強靱な抵抗力を持っています。試験データ（5点満点評価）で、実に満点に近い性能を持っているのです。（従って皮脂軟化が問題になっている鉄扉などにも使えるのですが、防錆効果を持たないために下塗として『水性メタルコートサビ止め』を入れる事が必要になります。）適応素材は外部の塩ビ素地（塩ビ鋼板）・内部の塩ビ素地（ビニルクロス、塩ビフィルム・、ダイノックシートなど）ですが、店舗の軒先にあるテントなども張りっ放しのもなら塗れるそうですし、ワックス除去は必要ですが、室内塗装でいつも困ってしまうソフト巾木などにも使えます。また、公式に謳ってはいないのですが、すでに可塑剤移行によってべたついてしまっている塗膜のリカバーにも使用できる様です。高い耐候性を持っていますので勿論外部使用も可ですし、『水性メタルコート』同様、艶も有り・無し・5分が出来ます。“困ったな、何を塗ろうか…”という時に、思い出して頂きたい商品です。



まだまだあります。☆その他の便利商品☆

『IPグロスEエコ』

底艶のない完全つや消しもラインナップしているEP。それなのに塗膜の柔軟性は80%もあるのでボードジョイントのパテ上でも割れにくいです。艶あり・消し・7分・5分・3分の5タイプ。

『IPクwickガード』

驚異の速乾性（20℃、1mmなら1Hで塗装可！）と充填性によりクラックを一発で簡単補修して強化します。繊維配合・ノンブリードタイプ F☆☆☆☆ 超低VOC。

『IPカラー各色』

従来の着色剤と違い、各色の粘度を調整してあるため、色によって出やすい・出にくいがありません。全ての色で一滴づつから配合可能。耐候性も高く全色外部使用可です。

『IPスーパーフロー』

独自の耐可塑剤性技術を駆使した水性1液アクリル・エポキシ樹脂塗料です。塩ビ床シート面、コンクリート面（フリーアクセスフロアなど）、更にはPタイルにも有効です。

『IP水性メタルパテ』

アクリル変性のエポキシエマルジョンパテ。屋内作業でポリパテが使えない時、仕上げに溶剤形塗料を使う時などに重宝します。にもかかわらず#240で研げますし、0.5mmまで充填可です。鉄面には直接使用、非鉄金属面には『水性メタルコート』をバインダーとして入れてから使用します。

***他にもまだまだ実力派の水性塗料があります。詳細は弊社担当者にお問い合わせ下さい。**



青葉営業所

リニューアルオープン！

改築なった青葉営業所が平成25年7月8日、リニューアルオープン致しました。永らくご不便をおかけ致しましたが、新しい店舗で、名実ともに地域で一番の塗料販売店になれます様、一同頑張って参りますので、今後ともご愛顧の程、宜しくお願ひ申し上げます。



お問い合わせは…

荻野化成株式会社



横須賀本社 電話 046-834-1611

横浜支店 電話 045-830-5871

青葉営業所 電話 045-937-5505

東京営業所 電話 03-5480-1666